

# 「越年」猶予 対応せかす



ILC誘致に向け意見交換する国会議員と研究者。3カ月後が日本政府による意思表明の最終期限となる＝国会内

## 政府意思表明 期限先延ばし 実現へ最終局面

【東京支社】国際リニアコライダー（ILC）の国内誘致を巡り、日本政府の意思表明の期限が「年内」から「3カ月後」に先延ばしとなった。国際研究者組織の幹部が7日、推進派の国会議員に方針を伝えたのは、日本側の議論が「越年濃厚」とみて、多少の猶予を与えることで対応をせかす狙いもありそうだ。仮に前進がなければ「プロジェクトは終わり」とも忠告し、誘致が実現するか否か、最終局面を迎える。



東北誘致

国会内の会議室に居並ぶ超党派議員に対し、リニアコライダー・コラボレーション（LCC）の村山副代表は「到着時間が決まっている電車の出発時間が過ぎている。日本政府が乗るのを待っている状況だ」と語気を強めた。

前日の6日、国際将来加速委員会（ICFA）の下部組織、リニアコライダー国際推進委員会は電話会議を開き、「年内に日本の声明を得るのは困難」として、ぎりぎりの期限を協議した結果、東京都で会議を開く「来年3月7日」を提示する方向となった。

7日の国会は会期末直前の激しい攻防を繰り返したが、超党派議員と研究者は予定をオーバーする約1時間、意見を交わした。自民党の鈴木俊一衆院議員（岩

### 【本記1面】

### 合同総会の出席国会議員

合同総会の出席国会議員（全て衆院議員）は次の通り。（事務局長はじめ、政党は衆院勢力順、氏名は五十音順、敬称略）

- ▽自民党 逢沢一郎（岡山1区）
- ▽自由民主党 神奈川13区 安藤裕（京都6区）
- ▽伊藤信太郎（宮城4区）
- ▽岩田和親（比例九州）
- ▽奥野信亮（比例近畿）
- ▽神山佐市（埼玉7区）
- ▽河村建夫（山口3区）
- ▽北村手2区

中国の田形加と疑問を投げかけた。超党派「科学技術の会」会長を務める自民党の細田博之衆院議員は「政府の長期的な負担や関係機関の出資など、具体論を加速させるべきだ」と今回の期限延期を生かし、誘致への流れを強める活動を訴えた。

これまで日本政府に再三、意思表明を求めてきたLCCのリン・エバンス代

- 誠善（長崎4区）
- 木村次郎（青森3区）
- 左藤章（大阪2区）
- 塩谷立（静岡8区）
- 鈴木俊一（岩手2区）
- 高橋比奈子（比例東北）
- 田村憲久（三重1区）
- 渡海紀三朗（兵庫10区）
- 藤原崇（比例東北）
- 古川康（比例九州）
- 細田博之（島根1区）
- 松野博一（千葉3区）
- 三原朝彦（福岡9区）
- 立憲民主党 岡本あき子（比例東北）
- ▽国民民主党 藤田（岩手1区）
- 津村啓介（比例中国）
- ▽無所属 中山正春（三重2区）

表は「世界の科学者」コミュニティにはいらだちがたまっていると言音も呈した。「最後のメッセージ」に日本政府がどう応じるか注目される。